



2021年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月9日

上場会社名 アゼアス株式会社
 コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年9月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 斉藤 文明
 (氏名) 羽場 恒彦
 TEL 03-3865-1311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第1四半期の連結業績(2020年5月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	2,221	8.4	101	35.8	123	54.1	88	72.9
2020年4月期第1四半期	2,425	10.3	74	254.0	79	205.1	51	249.2

(注) 包括利益 2021年4月期第1四半期 73百万円 (74.0%) 2020年4月期第1四半期 42百万円 (13.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	15.75	
2020年4月期第1四半期	9.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第1四半期	7,784	5,569	71.5
2020年4月期	7,758	5,608	72.3

(参考) 自己資本 2021年4月期第1四半期 5,569百万円 2020年4月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		20.00	20.00
2021年4月期					
2021年4月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,552	6.6	119	28.7	156	11.5	98	17.9	17.51
通期	9,711	2.3	200	57.1	280	41.3	176	44.2	31.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2020年9月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期1Q	6,085,401 株	2020年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	2021年4月期1Q	456,847 株	2020年4月期	456,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期1Q	5,628,554 株	2020年4月期1Q	5,610,354 株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年4月期1Q 113,700株、2020年4月期 113,700株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。(2021年4月期1Q 113,700株、2020年4月期1Q 131,900株) 株式会社日本カストディ銀行は、JTC ホールディングス株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大を受け、経済活動は徐々に再開しているものの、きわめて厳しい状態が続いています。引き続き、個人消費の落ち込みや営業・生産活動の停滞により先行き不透明な状況が見込まれる一方で、デジタル化の加速と新しい生活様式の定着という経済・社会構造の変化により、企業活動の変革と需要構造の変化に対処していくことも求められています。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業が引き続き比較的堅調に推移し、売上高は2,221百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は101百万円（前年同四半期比35.8%増）、経常利益は123百万円（前年同四半期比54.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は88百万円（前年同四半期比72.9%増）となり、減収ながら増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「たたみ資材事業」としていた報告セグメントの名称を「機能性建材事業」に変更しております。この変更は名称変更のみでありセグメント別の業績に与える影響はありません。

防護服・環境資機材事業におきましては、有害化学物質から人と環境を守る、感染症から人と環境を守る、作業環境リスクから人を守る、という3つの営業活動を進め、当社の強みであるタイベック®防護服の安定供給と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。その結果、売上高は1,337百万円（前年同四半期比11.8%増）、セグメント利益（営業利益）は174百万円（前年同四半期比52.1%増）となり、増収増益となりました。

機能性建材事業におきましては、畳表等の利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、需要の縮小が続いており、売上高は236百万円（前年同四半期比17.4%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同四半期比46.6%減）となり、減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、天候の影響による取引先の在庫調整、及び、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響で、需要が大きく減少し、売上高は561百万円（前年同四半期比27.0%減）、セグメント利益（営業利益）は14百万円（前年同四半期比59.6%減）となり、減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は86百万円であります。

(注) 「タイベック®」は、米国デュポン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し6,043百万円となりました。これは、主として現金及び預金が254百万円増加、商品及び製品等の棚卸資産が178百万円増加し、受取手形及び売掛金等の売上債権が298百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し1,740百万円となりました。これは、主として持分法適用の範囲の変更等により投資その他の資産が18百万円増加したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて25百万円増加し7,784百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し1,924百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金等の仕入債務が193百万円増加し、未払法人税等が納税等で78百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.4%減少し290百万円となりました。これは、主として長期借入金返済により18百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し5,569百万円となりました。これは、主として利益剰余金が配当等で23百万円減少、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定の減少等で15百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月12日に公表いたしました2021年4月期第2四半期（累計）の連結業績予想及び個別業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年9月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,905	2,325,266
受取手形及び売掛金	2,232,707	1,939,105
電子記録債権	505,213	500,263
商品及び製品	924,836	1,077,287
原材料	141,335	168,588
仕掛品	1,953	272
その他	169,939	48,789
貸倒引当金	△20,484	△15,999
流動資産合計	6,026,408	6,043,574
固定資産		
有形固定資産	1,323,296	1,314,606
無形固定資産	75,155	74,305
投資その他の資産		
投資有価証券	143,985	149,660
その他	203,205	219,030
貸倒引当金	△13,374	△16,724
投資その他の資産合計	333,816	351,965
固定資産合計	1,732,268	1,740,878
資産合計	7,758,677	7,784,453
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,141,192	1,344,260
電子記録債務	274,549	264,853
賞与引当金	57,200	37,250
未払法人税等	106,620	28,162
1年内返済予定の長期借入金	74,988	74,988
その他	182,342	175,313
流動負債合計	1,836,892	1,924,827
固定負債		
長期借入金	118,779	100,032
役員退職慰労引当金	100,160	100,160
役員株式給付引当金	22,867	25,784
退職給付に係る負債	71,615	64,172
固定負債合計	313,422	290,149
負債合計	2,150,315	2,214,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,846,218	3,822,603
自己株式	△256,769	△256,769
株主資本合計	5,571,197	5,547,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,556	△4,621
繰延ヘッジ損益	545	14
為替換算調整勘定	45,175	26,500
その他の包括利益累計額合計	37,164	21,893
純資産合計	5,608,362	5,569,476
負債純資産合計	7,758,677	7,784,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年7月31日)
売上高	2,425,029	2,221,921
売上原価	1,959,636	1,765,901
売上総利益	465,393	456,019
販売費及び一般管理費	390,895	354,838
営業利益	74,497	101,180
営業外収益		
受取利息	129	525
受取配当金	1,272	1,330
持分法による投資利益	-	12,508
為替差益	-	1,789
業務受託料	-	4,500
補助金収入	3,750	-
保険解約返戻金	1,390	-
その他	216	1,669
営業外収益合計	6,758	22,323
営業外費用		
支払利息	216	229
為替差損	777	-
リース解約損	270	-
その他	32	21
営業外費用合計	1,296	250
経常利益	79,959	123,254
特別損失		
減損損失	123	120
固定資産除却損	928	-
特別損失合計	1,052	120
税金等調整前四半期純利益	78,907	123,133
法人税、住民税及び事業税	9,377	23,308
法人税等調整額	18,234	11,135
法人税等合計	27,612	34,443
四半期純利益	51,295	88,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,295	88,690

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	51,295	88,690
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,642	3,934
繰延ヘッジ損益	△13,942	△531
為替換算調整勘定	7,473	△18,674
その他の包括利益合計	△9,111	△15,271
四半期包括利益	42,184	73,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,184	73,418

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

2. 取締役等に対する株式給付信託 (BBT) の導入

当社は、当社取締役及び監査役 (社外取締役及び社外監査役を含みます。以下、「取締役等」といいます。) の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役 (社外取締役を除きます。) が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めること並びに、社外取締役にあつては監督、監査役にあつては監査を通じた中長期的な企業価値の向上に貢献する意識を高めることを目的として、取締役等に対する新たな株式報酬制度「株式給付信託 (BBT (=Board Benefit Trust))」 (以下、「本制度」といいます。) を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」 (実務対応報告第30号 2015年3月26日) に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程 (ただし、役員株式給付規程のうち、監査役に関する部分については、その制定及び改廃につき、監査役の協議に基づく同意を得るものとしたします。) に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭 (以下、「当社株式等」といいます。) が信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度59,793千円、113,700株、当第1四半期連結会計期間59,793千円、113,700株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,195,804	286,178	769,331	2,251,313	173,715	2,425,029	—	2,425,029
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	337	12	2,574	2,924	14,172	17,096	△17,096	—
計	1,196,141	286,191	771,905	2,254,238	187,887	2,442,126	△17,096	2,425,029
セグメント利益	114,806	9,155	36,512	160,474	5,017	165,492	△90,994	74,497

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△351千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△90,642千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,337,040	236,376	561,863	2,135,280	86,640	2,221,921	—	2,221,921
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,619	10	2,517	5,147	16,383	21,530	△21,530	—
計	1,339,660	236,387	564,380	2,140,428	103,023	2,243,452	△21,530	2,221,921
セグメント利益 又は損失(△)	174,612	4,890	14,752	194,255	△6,704	187,550	△86,369	101,180

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△207千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△86,162千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「たたみ資材」としていた報告セグメントの名称を「機能性建材」に変更しております。この変更は名称変更のみでありセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の報告セグメントの名称で記載しております。